

## 2. 医療的ケア児等コーディネーターの配置状況等

## (2) 医療的ケア児等コーディネーターの活動状況

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、<b>退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言</b>することができた。</li> <li>医療的ケア児等コーディネーター<b>養成研修修了者に対するフォローアップ体制がない。</b></li> <li>困難事例への対応等にかかるスーパーバイズ体制がない。</li> </ul>
豊橋市	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li>圏域内のコーディネーターの<b>勉強会</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で地域課題への提言。</li> <li>医療的ケア児への個別ケース検討会に参加し、助言。</li> <li>圏域内のコーディネーターの<b>勉強会</b>で、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児への社会資源や支援の状況について課題の明確化ができた。</li> <li>実態調査を行うことで、<b>住民の全体像がおおむね把握</b>できた。</li> <li>保健師・相談支援専門員が医療的ケアコーディネーターを実施しているが、<b>役割の明確化ができておらず、切れ目ない支援を実施していくうえで課題</b>がある。</li> </ul>
岡崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で地域課題の提言を行った。</li> <li>医療的ケア児の相談支援</li> <li>医療的ケア児が退院する際、医療機関からの要請に応じて障がい福祉サービスに繋ぐ等支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の場を活用し、関係機関の連携が進んだ。</li> <li>医療的ケア児の受入れができる<b>社会資源が少ない。</b></li> <li>関係機関により医療的ケア児支援に対する<b>温度差</b>がある。</li> </ul>
豊田市	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田市自立支援協議会医療的ケア児者等支援部会に参加し、地域課題についての提言を行った。</li> <li>市役所内にて<b>個別支援会議</b>に参加し、サービス調整や情報共有に努めた。</li> <li>医療的ケア児が退院する際のカンファレンスに参加し、退院後のサービスについて提案、計画書の作成を行った。</li> </ul>	<p>地域小学校への入学にあたり、特別支援コーディネーター、担任、養護教諭、栄養士等学校で本人にかかわる方、パルクとよた、訪問看護、保護者間で必要な医療的ケア、そのほか合理的配慮について共有、必要時の連絡体制の確保を行った。</p>
一宮市	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で地域課題への提言や、情報交換を行った。</li> <li><b>個別支援会議</b>へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>医療的ケア児が<b>退院する際、カンファレンスに参加</b>した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児の退院カンファレンスへ参加し、関係機関との調整を行うことができた。</li> </ul>
瀬戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>設置に向けた調整</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> <li>圏域内のコーディネーターの<b>勉強会</b>への参加</li> <li>自立支援協議会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政や訪問看護事業所と連携し、対象児や家族の状況把握を行った。</li> <li><b>協議の場</b>設置に向け、今年度開催する会議の調整を行った。</li> <li>医療・保健機関でのケース連絡会議や<b>個別支援会議</b>に参加し、福祉の立場での助言やサービス調整、全体のコーディネート業務を行った。</li> <li>医療的ケアが必要な児童について、行政や就学先の学校や教育委員会、障害児通所支援事業所や障害福祉サービス事業所等との調整を行った。</li> <li>自立支援協議会へ参加し、医療的ケア児等に関する課題の提示を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会設置を本格化するため、事前会議を開催予定。</li> <li>関係機関との顔合わせを行い、相談しやすい関係構築を行った。</li> <li>障害児通所支援事業所の<b>実務者レベルでの医療的な知識を学ぶ場が欲しい</b>との要望があり、訪問看護ステーションの協力を得て開催することを検討中。</li> <li><b>コーディネーターの認知度が低く、地域における役割が確立していない。</b></li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
半田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・医療機関を始めとした関係機関との連絡調整</li> <li>・圏域会議への参加</li> <li>・本人の同行支援等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場として障がい者自立支援協議会の配下に設置された「医療的ケア支援に係る検討会」において、医療的ケア児の近況等の情報共有、医療的ケア児及びその家族が抱える課題に係る検討、新規事業案についての提案等を実施。</li> <li>・個別支援会議へ参加し、医療的ケア児及びその家族並びに関係機関との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・医療機関、幼稚園、保育園、学校等の関係機関が医療的ケア児に対する支援を円滑に実施できるよう当該関係機関との連絡調整を行った。</li> <li>・圏域会議で、課題の提言や情報交換を行った。</li> <li>・事業所見学への同行や面接に同席する等の支援を行った。</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等コーディネーターが中心になり、医療的ケア児が地域で生活していくための必要な支援について、関係機関で迅速に協議し、実施することができている。</li> <li>・就学前の医療的ケア児が地域の保育園、幼稚園等に通園できるように看護師を派遣する事業を実施（令和2年度開始。）。</li> <li>・医療的ケア児が地域の保育園、幼稚園、小学校等に通えるよう必要な体制整備を行うための協議の場として「医療的ケア児の教育及び保育の保障に関する検討会」を設置し、関係機関で協議を実施。</li> <li>・災害時への備えとして、医療的ケア児の個別避難計画を作成。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職員の配置等の人員面及びバリアフリー等の設備面から医療的ケア児及びその家族のニーズに対応できる社会資源が不足しており、また、それらの課題についてはすぐに解消できるものではないこと。</li> </ul>
春日井市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場の運営（地域自立支援協議会の下部組織）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場の司会、進行等の運営を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターと関係者による顔の見える関係作りができた。</li> <li>・市内在住の医療的ケア児等にとってどのような課題があるのか、事例検討を通して課題を抽出する作業を行っている。抽出された課題についてどのようにアプローチできるのかが今後の検討課題となる。</li> </ul>
豊川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>①協議の場への参加</li> <li>②個別支援会議への参加</li> <li>③医療的ケア児者の実態把握</li> <li>④施策等の確認と改善に向けての検討</li> <li>⑤啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①豊川市障害者地域自立支援協議会「医療的ケア部会」「運営委員会」に参加し、事例や課題について報告を行った。</li> <li>②地域の相談支援専門員が担当する児童のケースに関わり、情報提供、同行、助言等の連携を行った。</li> <li>③市内の医療的ケア児者の現状を確認し、地域課題を整理した。</li> <li>④「豊川市日中一時支援事業医療的ケア加算」について、対象者や仕組みの見直しを行った。</li> <li>⑤医師、相談支援専門員、サービス提供事業所等と連携し、医療的ケア児者に関する研修会を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の医療的ケア児者の概ねの人数、年齢、必要なケアの傾向等を把握し、地域課題を整理することができた。複数の「動ける医療的ケア児」の存在が明らかになった。</li> <li>・地域課題の整理により、「日中一時支援事業医療的ケア加算」の見直しを行い、「動ける医療的ケア児」にも対応できるよう改善した。</li> <li>・オンライン研修会には69名が参加。幅広い関係機関への周知・啓発ができた。</li> <li>・「動ける医療的ケア児」が利用できる社会資源の不足。福祉サービスの利用に関してだけでなく、就園、就学にも課題がある。（例：喀痰吸引を必要とする就園期の児。ケアができる看護師が保育園に配置されていない等の理由により、受け入れができない。）</li> <li>・医療的ケア児者の災害時の避難方法、呼吸器のための電源確保方法等について課題がある。</li> <li>・新型コロナウイルス等の感染症を家族が発症した場合等、家族の緊急時の対応について課題がある。</li> </ul>
津島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会やあいち小児保健医療総合センターが主催する、医療的ケア児支援者向け研修会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会やあいち小児保健医療総合センターが主催する、医療的ケア児支援者向け研修会への参加し、支援方法を学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例の相談先がない</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
碧南市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅等での個別支援会議へ参加し、関係課との連携や災害時の対応、今後の課題についての意見交換を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	
刈谷市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議およびケースカンファレンスへの参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内の医療的ケア児支援者情報共有会への参加</li> <li>・圏域内の医療的ケア児支援者の研修会・勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の個別支援会議およびケースカンファレンスに参加し、個別の課題と支援方針を整理確認し、行政・関係機関・関係者の役割分担と調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後または在宅生活が安定したのちからの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言し、関係機関及び事業所との連携・調整をはかった。</li> <li>・圏域内の医療的ケア児の研修・学習会へ参加し、関係機関及び事業所の連携・活動状況の情報交換を行うとともに、今後の地域課題や取り組みの方針について研修した。</li> </ul> <p>※圏域の研修会</p> <p>保健所主催：医療的ケア児等関係機関連絡会議、医療的ケア児の支援体制推進研修会、難病対策地域協議会。</p> <p>西尾市主催：自立支援協議会医療的ケア児支援ワーキングチーム会議。</p> <p>各市自立支援協議会主催：子ども部会など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院前カンファレンスに参加し、退院当初からチーム支援ができる体制が整えられた。福祉サービスをスムーズに利用でき、落ち着いた地域生活の開始につながった。</li> <li>・圏域内の研修・学習会で地域の課題を整理するとともに他市の取り組みを知り、それを参考に今後の支援方針を具体化できた。</li> <li>・そもそも「医療的ケア児支援コーディネータ」とは何か、どんな役割や機能が求められているか、今後の効果的な活用の仕組みなど、地域の行政・医療・福祉・教育の関係者の中で理解と啓発が足りない。</li> </ul>
安城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議の開催・参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言を行った。</li> <li>・個別支援会議を開催、または参加し関係機関との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・医療的ケア児の支援者を対象とした研修へ参加し、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の医療的ケア児を含む支援が必要な方のマップ作りを開始した。</li> <li>・課題が多すぎて優先順位をつけるのが困難である。</li> <li>・学校卒業後の進路についての地域で提供できる選択肢が少ない。</li> <li>・個人情報の保護の関係で情報共有が難しい。</li> </ul>
西尾市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加・コーディネーターの顔合わせ・医療的ケア児の家庭訪問・医療的ケア児の保育園訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域に必要な資源や課題について共有した。</li> <li>・現在2名となり、情報交換等を行った。</li> <li>・家庭訪問をし、児童の生活の様子や保護者の思いを聴かせてもらった。</li> <li>・保育園での生活の様子を見学させてもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時の医療的ケア児の電源確保について協議し、改めて保護者の不安や課題について共有することができた。</li> <li>・職種の異なるコーディネーター間で話し合うことで、違う視点で児童に必要なことを話し合うことができた。</li> <li>・保護者の思いや心配感を知ることができた。利用可能な事業所情報を伝える等の提案をすることで、少しの安心に繋がった。</li> <li>・園での様子を知ることができ、先生、保護者の思いや希望などを共有することで、進路について連携をとるきっかけになった。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
蒲郡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・圏域内のコーディネーター講演会等への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、地域の実情についての発言を行った。また、圏域内でのコーディネーター講演会等の内容の報告を行った。</li> <li>・圏域内のコーディネーター講演会等で、情報収集を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターが情報収集を行う中で、これまで把握できていなかった医療的ケア児の存在が確認された。</li> <li>・複数名のコーディネーターの役割分担がされておらず、実際に医療的ケア児該当者が判明した際の担当者が定まっていない。</li> <li>・市内に医療的ケア児受け入れ可能な施設がなく、コーディネートを行うにも提供できる情報が少ない。</li> <li>・市内の医療的ケア児全員の把握がおそらくできておらず、どのように活動していくべきか不明である。</li> </ul>
犬山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	
常滑市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・圏域内の会議への参加</li> <li>・個別支援計画の作成</li> <li>・親の会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・市役所内の相談支援連絡会で、情報交換を行った。</li> <li>・協議の場で地域課題への提言を行った。</li> <li>・情報交換や課題の提案を行った。</li> <li>・保護者と必要な福祉サービスを調整し個別支援計画を作る。</li> <li>・みんなで個人の課題と共通（地域）の課題を考え、行政や協議会へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用できる事業所が不足している。</li> <li>・利用できる支援に限りがあり、今後ニーズが増えてきた場合の対応が課題。</li> </ul>
江南市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・小児慢性特定疾病児童等関係機関連絡会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言等を行った。</li> <li>・個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・小児慢性特定疾病児童等へのガイドブック作成に携わった。</li> </ul>	<p>困難事例等があった場合、中心的な役割を担うこととなるが、職種間での調整が十分にできない可能性がある。</p> <p>全て行政職員のため、異動があり、継続した支援が行えない可能性がある。</p>
小牧市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・圏域内のコーディネーターの勉強会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等ネットワーク部会の立ち上げ。</li> <li>・各機関の状況の聞き取り。</li> <li>・協議の場でアンケート実施についての検討や、配布、取りまとめを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市がある程度把握している情報を個人情報保護の観点から共有することが難しく、小牧市として改めて当事者が何名おられるのかの確認のためのアンケートを実施。全体の把握には至らず。継続して調査を行っていく。</li> <li>・保育園への入園を目指している方が数名あり。体制ができていないことから、今年度の入園は諦めた。</li> </ul>
稲沢市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題の共有。</li> <li>・近隣のNICUを持つ医療機関へ、医療的ケア児コーディネーターの周知の実施。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言。</li> <li>・福祉サービス未申請のケースに対する関係機関との連絡、調整。</li> <li>・母子担当課保健師と、ケース把握時点で共有を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健担当課と福祉分野が、より早期から連携できるようになった。</li> <li>・訪問看護分野と福祉分野が、協議の場を通して、顔の見える関係になり、より相談しやすくなった。</li> <li>・近隣に医療的ケア児が活用できる資源が少ないため、個々のケースを通し、関係機関に働きかけを行う必要がある。</li> <li>・今後、医療的ケア児コーディネーターが効果的に活動できるよう、具体的な活動を検討していく必要がある。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
新城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場（事例検討）への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場において、事例検討を中心に行うことで、支援方法の検討、他機関との連携等を図った。</li> <li>・事例検討を通じて、地域課題への抽出や蓄積を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔が見える関係づくりが進められ、連携して支援を行うケースが出てきた。</li> <li>・コーディネーターの位置づけや役割が明確で、コーディネーターそれぞれの得意分野を生かせる状況に無いため、ライフステージに応じた支援体制となっていない。</li> </ul>
東海市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題を提示した</li> <li>・市の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の勉強会等で他市の状況把握やネットワークをつなげたい</li> <li>・保健師や基幹相談支援員、病院ケースワーカー等との業務の違いがはっきりしないため、どう一般に周知していけばよいか</li> </ul>
大府市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院カンファレンスに関係機関の参加を呼びかけた。退院から転居、福祉や医療のサービス利用まで全ての調整に携わり、医療的ケア児を支援できた。</li> <li>・協議の場で新規事業の提案を行うことができた。</li> <li>・部会以外での関係機関との協議をどのように進めていくかが課題。</li> </ul>
知多市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・医療的ケア児の訪問支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>・退院後の医療的ケア児宅を訪問し、生活状況や福祉サービス等申請状況の確認を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院カンファレンスに参加したことにより、退院初日から必要な福祉サービスの利用や医療機器の使用がスムーズにできた。</li> <li>・困難事例の相談先がない</li> </ul>
尾張旭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・本市での医療的ケア児者の名簿作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の受け入れの検討及び協議を実施。</li> <li>・就学児童への関係機関等との調整。</li> <li>・市役所内の関係部署や相談支援事業所へ対象児者の照会を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内における医療的ケア児に対する社会資源の不足が共通理解となった。また、現在ある社会資源の中で活用できる場の検討と具体的な対応方法について関係者と調整ができた。</li> <li>・就学先を決める際に、保護者の意向等を受け止めながら関係機関との調整をはかることができた。</li> <li>・市内の対象児者が関係機関で共有可能となった。</li> </ul>
高浜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の退院カンファレンスへの参加を呼びかけられ、退院初日からヘルパーの利用ができるよう調整を行うことができた。</li> </ul>
岩倉市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議内容は特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
豊明市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場の企画および参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> <li>・相談支援専門員への助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の医療的ケア児のリストアップ、現状の情報収集。</li> <li>・医療的ケア児の母が集まるサロンに参加。</li> <li>・医療的ケア児とその家族が対象のイベント「かけはしキッズ」への参加協力</li> <li>・県の医療的ケア児実態調査結果の把握・分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療的ケア児の個々の事例から、実情と課題を把握することに努めた。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
日進市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で地域課題の共有を行った。</li> <li>・個別支援会議に参加し、対象児についての情報提供や意見交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の医療的ケア児に関するアンケート調査の準備段階で、意見調整を行った。</li> <li>・具体的な事例が少なく、地域課題のイメージが湧きにくい。</li> </ul>
田原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議への参加</li> <li>・医療的ケア児の医療機関との情報提供及び連携会に参加</li> <li>・保育所や学校等の受入先との調整会議に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>・保育所入所や小学校就学に伴う事前準備のため、医療機関や関係機関との情報提供や連携会開催の調整を行った。</li> <li>・保育所や学校等の受入先の職員及び配置する看護師、医療的ケア児の保護者との打合せ会開催の調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児が希望する市内の保育所や小学校に就園就学できるよう保育所・学校・医療機関との調整を行い、身近な地域で医療的ケア児が通園登校できる体制を整えることができた。</li> <li>・コーディネーターが保護者の要望等を聞き、調整会議開催するなど保育所や学校、医療機関との連携体制を構築したことにより、支援体制の充実を図ることができた。</li> <li>・医療的ケア児のニーズの把握ができたことにより、国等の補助金を活用した看護師配置のための体制整備に繋げることができ、医療的ケア児の支援体制の充実を図ることができた。</li> </ul>
愛西市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で市内の状況について情報共有を行った。</li> <li>・市役所内の個別支援会議へ参加し、関係課との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等コーディネーターとして活動しているというよりも、通常の業務の中で医療ケア児等と関わっている傾向が強い。</li> <li>・コロナの感染状況により活動が制限されている。協議の場も R1、R2 と開催できていない。</li> </ul>
清須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問・医療的ケア児の退院時カンファレンスへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節目での発達確認や地域の子育て支援、福祉サービスについて助言した。</li> <li>・医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の退院カンファレンスへ参加し、退院後の調整について関係機関で情報共有をし、支援に繋ぐことができた。</li> </ul>
北名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議の開催</li> <li>・相談対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議を開催し、関係機関との調整を行った。</li> <li>・関係機関からの相談対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の学校での受け入れ調整を円滑に進めるためのノウハウがないことが課題。</li> </ul>
弥富市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場で、把握できる全ケースの状況確認し、地域課題の抽出や検討、情報交換を行った。</li> <li>・保育・教育等ライフステージにおける対応体制・課題の洗い出しを行い、既存の取り組みの情報共有</li> <li>・海部南部圏域での Co で情報共有、ケースがない地域のフォローを含めた事例検討会の検討</li> <li>・市役所内の関係課との調整を行い、地域に社会資源がないため、放課後等デイサービスを 20 歳まで利用できるように調整した。続いて、市外の医ケア児対応の放課後等デイサービスに生活介護の設立を相談し、20 歳になる年に、生活介護を開所することが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別での連携は展開されるが、個人情報の観点より、早期の情報共有が困難。</li> <li>・NICU と保健師との連携は行われているが、在宅サービスや福祉との連携体制がまだ強化が必要。</li> <li>・新生児は保健センターで全数把握できるが、転入に伴う医ケア児者の把握が遅れる。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
みよし市	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児等コーディネーターワーキンググループの設置及び協議</li> <li>医療的ケア児進学時のケース会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児等コーディネーター養成<b>研修</b>受講者でワーキンググループを設立し、みよし市における医療的ケア児等コーディネーターの役割や医療的ケア費給付事業の現状・課題について協議した。</li> <li>医療的ケア費給付事業利用者が中学校へ進学するため、ケース会議に参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージごとに担当となる医療的ケア児等コーディネーターを決め、実際にケース会議に参加することができた。</li> <li>医療的ケア児等<b>コーディネーターの存在や役割が周知されていない。</b></li> <li><b>医療的ケア費給付事業が学校や保護者に知られていない課題</b>があることがわかったため、医療的ケア児等コーディネーターとして周知啓発に取り組んでいく。</li> </ul>
あま市	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> </ul>	
長久手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別ケース検討会への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別ケース検討会に出席し、関係機関との調整を行った。</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>に参加し、子育て支援サービスと福祉サービスについて情報提供を行った。</li> </ul>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケアを必要とする<b>児童と成人の課題を一緒に協議できる場</b>の設置に向けた検討を行った。</li> <li>医ケア児が利用できる<b>事業所が少ない。</b></li> <li><b>居宅訪問型児童発達支援が提供できる事業所がない。</b></li> </ul>
東郷町	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会こども部会への参加</li> <li><b>退院時カンファレンス</b>、福祉サービスの担当者会議等に参加予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療ケア児の入園等について担当課と検討している。</li> </ul>	
豊山町	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊山町部会（相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議）への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊山町部会（相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議）へ参加し、関係課との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊山町部会（相談支援事業所、保健センター、町福祉課の参加する障害福祉サービスに関する会議）へ参加し、医療的ケア児の支援に関する情報交換を行うことができた。</li> </ul>
大口町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li>個別相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大口町障がい福祉調整会議に参加</li> </ul>	
扶桑町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で地域課題への提言を行った。</li> <li><b>個別支援会議</b>へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> </ul>	
大治町	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問</li> <li><b>協議の場</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達支援部会にて、圏域の医療的ケア児の状況や課題について協議を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題として、医療的ニーズを満たす<b>預かりの場の不足、レスパイトケアの充実、人材（看護師・教職員の養成）と医療設備の導入</b>があげられる。</li> <li>医療的ケア児コーディネーターの<b>役割が明確に定まっていない。</b></li> <li>医療的ケア児の<b>正確な数の把握ができておらず</b>、また、把握する手段についても課題である。</li> </ul>
蟹江町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>家庭訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により会議を開催できなかった。</li> <li>新規の方の家庭訪問を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>就学児の受け入れ先との調整が課題</b>である。<b>早い時期からの調整</b>を行っていく必要がある。</li> </ul>

市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
南知多町	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関間でのケースの情報共有</li> <li><b>協議の場</b>(子ども部会)への参加</li> <li>子ども部会での<b>勉強会</b>の開催</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> <li>圏域子ども部会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関わってる機関が集まり、大人を含めて医療的ケアがあるケースの現状共有を実施。課題の把握。</li> <li><b>協議の場</b>(子ども部会)に参加して、現状報告・課題の提言を実施。部会での協議内容をケースに反映をさせていく。</li> <li>地域で受け入れる事業所を増やしていくために、医療的ケアのある子ども実態やしくみをするための<b>勉強会</b>を実施(講師:圏域アドバイザー)。</li> <li><b>個別支援会議・退院時カンファレンス</b>については、必要に応じて対応。</li> <li>圏域子ども部会への参加をして、町のケース概要・課題を報告。令和4年度にできる入所施設の利用について情報共有を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各町で<b>定期的な情報共有の場</b>をもつことで、課題が出てきた時にすぐに対応できる体制が確保できている。</li> <li><b>新規のケースが出てきた時に、どうケースを取り扱っていくのかしくみの見える化</b>をしていく必要あり。</li> <li>次に生まれてくる医療的ケアが必要なケースが生活のしずらさを感じないように、少しずつ事業の整備をしていく必要あり。</li> <li>子ども部会でケース検討や情報提供をしていくことで、<b>看護師の雇用につながった事業</b>所有。</li> </ul>
阿久比町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の状況把握、情報共有</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> <li>圏域こども部会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>やそれ以外の時でも、町内医療的ケア児の状況把握、情報共有を行った。</li> <li>医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>圏域こども部会で、地域課題の共有、意見交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内医療的ケア児については、まんべんなく状況を把握できている。</li> <li>児発利用希望に際し、スムーズな案内・申請を行うことができた。</li> <li><b>町内だけでは解決できない課題がある(通院可能な病院が近くにない、など)</b></li> </ul>
東浦町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li><b>個別支援会議</b>への参加</li> <li>医療的ケア児の<b>退院時カンファレンス</b>への参加</li> <li>圏域内のコーディネーターの<b>勉強会</b>への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で地域課題への提言や、新規事業案についての提案を行った。</li> <li>町内の<b>個別支援会議</b>へ参加し、関係課との調整を行った。</li> <li>医療的ケア児が退院する際、カンファレンスに参加し、退院直後からの在宅生活に必要な福祉サービスについて助言した。</li> <li>圏域内のコーディネーターの<b>勉強会</b>で、各自の活動状況等の情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内に医療的ケア児等の利用できる<b>事業所が少ない</b>ため、他市の事業所や訪問看護事業所との連携が必要。</li> <li>コーディネーターの活動やサービスの調整ができるよう、医療的ケア児等コーディネーターの周知用チラシや医療的ケア児等に対するガイドブック(案)の作成について協議した。</li> <li>未整備だった<b>小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業の準備やタクシー料金助成の対象に医療的ケア児等を加える準備</b>を行った。</li> <li><b>他市の取り組みを参考に</b>、必要なサービスについて、関係者と協議した。</li> </ul>
美浜町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li>情報のとりまとめ</li> <li>関係機関との協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>での地域課題への提言</li> <li>医療的ケア児の関係者との調整及び会議への出席</li> <li>圏域内のコーディネーターの<b>勉強会</b>で、各自の活動状況等の情報交換</li> <li>関係機関との情報共有方法及び今後の支援についての検討</li> </ul>	
武豊町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li>情報のとりまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>での地域課題への提言</li> <li>医療的ケア児の関係者との調整及び会議への出席</li> <li>圏域内のコーディネーターの<b>勉強会</b>で、各自の活動状況等の情報交換を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の把握に努める</li> </ul>
幸田町	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>への参加</li> <li>幸田町医療的ケア児在宅支援事業実施時の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で地域課題への提言や、当事者の意見を伝えた。</li> <li>幸田町医療的ケア児在宅支援事業の利用調整、対象者のアセスメントの実施。</li> <li>新規事業について関係機関との連絡調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>協議の場</b>で医療的ケア児の現状を話し合う中で、<b>幸田町独自の新規事業を立ち上がった。</b></li> <li>当事者の意見を確認することで、利用しやすいものに改善できた。</li> </ul>



市町村名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
設楽町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場への参加</li> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町障害者自立支援協議会に出席し、医療的ケア児の情報共有と医療・福祉連携の課題等について検討した。</li> <li>・個別支援会議に出席し助言し、役場内の関係課との調整を行った。</li> </ul>	
東栄町	対象者が不在のため活動実績無し。		
飛島村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議や支援者会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例が少ないため、課題がでた時の対応や判断が難しい。</li> </ul>
豊根村	配置未定（対象児なし）		